

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもと
づく医療・介護の実践

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404) 7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

新しい歴史をつくるのは私たちです

代々木健康友の会第43回定期総会

11月1日(日曜日)、全理連ビルで、代々木健康友の会は「歴史をつくるのは私たち」という決意のもとに第43回定期総会を開催。未来を切り開く第一歩を踏み出しました。

守りから攻めへ

総会はM&M(代々木病院若手薬剤師のコンビ)のピアノとバイオリンで奏でるムーンリバーで幕開け。素直で穏やかな音色に魅了される中で総会が始まりました。友の会を代表して八田会長が、「鳩山政権は、コンクリートで固めた街から、緑の街に転換する」と言っている。友の会

友の会とともに

は、政治の動きを敏感に察知し、医療と健康を守り、安心して生活できる暮らし実現のために、攻めの姿勢に転じ、住民の先頭に立ち、戸を大きく開いて、希望に燃えて未来を切り開く第一歩として総会を始めたい」と挨拶をしました。



M&Mの素直で穏やかな音色で幕開け



攻めの姿勢に転じようと挨拶する八田会長



友の会のみなさんと力をあわせて頑張りますと井上院長

て、代々木病院井上均院長から、「代々木病院は今年、(病棟の構成を、一般病棟、回復期リハ病棟、障害者病棟に再編するなど)、医療機能を大転換させました。大病院ではできない医療や介護をし

友の会をより強く

今後の最重要課題として、新政権に対して、後期高齢者医療制度を速やかに廃止をさせること、会員にお願いした署名をさらに広めること、月ごと

広がる共感の輪

議事では、清見事務局長が総会議案を提案する事務局長報告を行

決)に取り組んだこと



フロアー発言: お食事班会の様子を栄養課の斉藤さんが報告



新役員体制が発足

から09年度決算報告、10年度予算の提案、議長から新役員の提案があり、全員一致で提案があり、全員一致で提案あり、(詳細は友の会ページ4面に掲載) 恒例となった(代々木病院合唱団)バンブーの磨き抜かれた歌声を堪能し、「月はとっても青いから」を全員合唱して総会の幕を閉じた。

手術台

師走。いつも落ち着き払っている師も走り回っている月と、考え

るとうまい命名だ、といつも思う。なんでも走り回ること、1年間の締めくくりをするために決まっている。ということは仕事も生活も己が心も締めくくることができた幸せな慣習、人間的な時代があったのであろう。▼今の12月は、仕事も心も締め切れない。いつもと同じく何の感動なきフツフの一ヶ月が流れ正月へなだれ込んでいく。区切りの痕跡は儀礼化された年賀状だけ、むなしい! 懐古趣味に浸っているわけではない。「区切れない」この損失を考えているのである。▼医療はもろろん365日エンドレス、したがって民医連運動も同じである。しかし、その多くは年間スケジュール化され、次から次へと来る行事や運動をこなしているのが現状である。全員で心を込めて立案し、参加し、成果を共有するという運動の黄金律は遠くより部局任せが当たり前である。結果、職員は「精神的その日暮ら」になる。区切らないと、大損なのである。(ま)